

ヤマネコ騎士団物語

女騎士イリナ

第二話

あらくれ
arakure

立ち読み版



怪我をしている人は
申し出て下さい

水も食べ物もあります
たくましい傭兵の皆さんも
おられます

それにヤマネコ騎士団
疾風の女神と呼ばれている
ルーシア様も駆けつけて
くれました



オークは
恐ろしい者たちですが
こちらには頼もしい
方たちがいます

落ち着いて
シスターたちの指示に
従ってください

もちろんです
シスターマリアンネ



マリアンネ



よく無事で
戻りましたルーシア
街の方はどうですか？

はつきり言って厳しい
隙をついて入り込んだような
オークの数ではない

おそらく城壁外で
オークどもを迎え撃った
領主の軍はすでに敗走したか
壊滅している……

そうですか……
もう是非もないですね
では……

はい、すぐに
街を脱出するための
兵の編成をします



また命がけて
この子らを救って
くれたのですね

救えたのは
わずかの命だけです……



それで十分です
皆本当にあなたに
感謝しているのよ
ありがとうルーシア

私一人じゃこんなに
たくさんの人を
助けられないもの



マリア……
心配しないで
わたしが皆を守るから



でもこんな大変なときに
あなたが戻ってきてくれて
不幸中の幸いだっただわ

そんなよそよそしいこと
言わないでくださいマリア





本当にオークの
体液というのは
ひどい臭いですね…

あまり触れては
いけませんよ
シスターケイト

粘膜などにつけば
女性を惑わし狂わせると
云います

だ…だからわたし……
オークに襲われている時
いつもの自分じゃないみたいに
なっちゃったんですね……

エリサ……



でもお姉ちゃんは
強いからわたしみたいに
変になつてなかったよね

ずっとわたしの名前
呼んでくれたの

それは…イリナさんは
ヴァルキュリアの加護を受けて
いるのかもしれないね

私も聞いたことがありますわ
シスターマリアンネ

たしかオークの精気に
惑わされることなく
冷静に戦い抜くことができる
英雄の資質ですよ

ルーシア様も
そうだと聞きました

お姉ちゃんすごい

わたしには
よ…よくわかりません



そっ…
そうなのですか
これが…

それに
これは人間の殿方のものと
同じくらいなのですよ

マリアン様
本当にこんなものを
入れても大丈夫
なのでしょ…

あとはこの中も
洗浄しましょうね
足を開いて
少し我慢をしてください

オークの体液を
いつまでも体の中に
入れておくのは
良くないですから



あ…

んっ…

アッ

アッ

アッ

アッ

アッ

この続きは製品版をご購入の上、
お楽しみください。

編集・発行

株式会社キルタイムコミュニケーション

〒104-0041 東京都中央区新富1-3-7 ヨドコウビル

TEL03-3555-3431 (販売) / FAX03-3551-1208

※本作品の全部あるいは一部を無断で複製・転載・配信・送信したり、ホームページ上に転載することを禁止します。本作品の内容を無断で改変、改ざん等行うことも禁止します。また、有償・無償にかかわらず本作品を第三者に譲渡することはできません。

©KILL TIME COMMUNICATION Printed in Japan

<http://ktcom.jp/>

穢れた精子で 子宮が

あらくれ

created by arakure
Kegareta seishido shikuyuga panpan!

パッパッ!

二次元ドリームコミックス



ぶっか
けられ、
流し込
まれる
のは
オ
触
手
ク
中
年
男
汁
汁
汁
汁
汁

キュートな少女と
激しい陵辱の
ギャップを描く
著者 **初** 単行本
!!!!

全国書店・電子書籍販売サイトで
大好評発売中!